



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第 139 号  
発行:兵庫県ユニバーサル推進課 令和 4 年3月9日



【今月のピックアップ！】

- ① サンテレビ「ひょうご発信！」(4月10日(日曜日)放送)  
～「教えて！ひょうご」コーナーで、盲ろう者支援センターを紹介～

【手話カフェ】

- ② ～主体的に動けるように～

【募集・イベント】

- ③ きこえない・きこえにくい未就学児とそのご家族対象  
～ひよこ「手話でお話しよう」Zoom～

【お知らせ】

- ④ 「兵庫県障害者アートギャラリー」3月・4 月の催し

【ラジオ】

- ⑤ 「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」2月放送内容



- 
- ① サンテレビ「ひょうご発信！」(4月10日(日曜日)放送)  
～「教えて！ひょうご」コーナーで、盲ろう者支援センターを紹介～
- 

県の実践や地域のホットな話題を、バラエティ豊かなリポーター陣が  
分かりやすく紹介する県政情報番組「ひょうご発信！」。4 月 10 日  
放送の「教えて！ひょうご」のコーナーでは、盲ろう者の生活を紹介  
し、ユニバーサル社会について一緒に考えます。

盲ろう者は、目と耳の両方に障害をお持ちの方で、「ヘレンケラー」をイメージするとわかりやすいです。盲ろう者と、小学生の子ども達との交流会「ちびっこ盲ろう者体験教室」の様子や、盲ろう者の日常生活を知っていただける内容です。ぜひご覧ください。

■サンテレビ「ひょうご発信！」

◇日時 令和4年4月10日(日)あさ8時30分～9時

(再放送:翌月曜日 18:00～18:30)

どうぞお楽しみに！

---

②【手話カフェ】 ～主体的に動けるように～

---

聴覚障害者にとって、突然の出来事で様子が把握できない、暗闇や停電で視覚による情報が途絶えるなどはとても困難な状況です。大規模災害の発災時はこのような条件が重なることが多く、なかなか避難行動につながらないことは前回お伝えしました。

次に避難生活に入ると避難所での情報取得に加え、周りの人とのコミュニケーションで困難が大きくなってきます。避難所ではだれもが被災者で、通常的生活ではありません。そのストレスの中で周りの人に聞くこと、教えてもらうことはなかなかできません。

自分のたてる物音が聞こえないため必要以上に気を遣う、放送が聞こえなくて配給物が受け取れないなどが毎日続くため、危険であっても車や自宅に戻る人が出てきます。声だけの安否確認、保健師による健康相談の巡回などは、聴覚障害の人が知らないまま行われたり、十分な会話ができずに終わったりすることがあります。

救援、相談情報などは事前に掲示板に大きく掲示する、放送内容はできる限り同時に目に見える形で表示する、聞こえにくい人は管理者に申し出るように書いた紙を貼るなど聴覚障害者が自分からアクションを起こせるような支援が必要です。そして、音声を文字化するアプリの活用や筆記での会話保障、手話が必要な方には被災地外

からの遠隔手話通訳等、行政のサービスが聴覚障害者にも行き届くような人材やシステムの活用も望まれます。

いくつかの自治体や団体では「手話ができます」「聞こえません」などの言葉をプリントしたスカーフを作り、お互いが助け合えるような工夫も準備しています。(下のリンク参照)

聴覚障害であっても情報が入って判断できれば、自分で行動することができます。避難所や地域で共助の役割を担うこともできるかもしれません。聴覚障害者への支援は、今そこにある会話や情報をきちんと伝え、聴覚障害者が自ら行動できるようにすること、必要な会話を保障することです。

#### ■香美町が製作した「防災スカーフ」

<https://www.kobe-np.co.jp/news/tajima/202012/0013924015.shtml>

(兵庫県設置手話通訳者)

---

#### ③ 聞こえない・聞こえにくい未就学児とそのご家族対象 ～ひよこ「手話でお話しよう」Zoom～

---

聞こえない・聞こえにくい未就学児と、そのご家族を対象とし、手話を使ってコミュニケーションの芽をはぐくむ場「ひよこ」を開催します。

#### ■手話でお話しよう「ひよこ」

◇日にち 令和4年3月の次の日程。事前申し込みが必要です。

11日(金)、14日(月)、16日(水)、18日(金)、  
23日(水)、25日(金)、28日(月)

◇時間 10:30～、13:30～、15:30～いずれか選択(1回70分)

◇内容 絵本よみきかせ、手あそび、工作

◇方法 オンライン(Zoomを使用)

◇対象 未就学児(小学校に入る前までのお子様)

◇費用 無料

■詳細はこちら兵庫県聴覚障害者協会の HP をご覧下さい。

<http://hyogodeaf.com/2022/02/21/5914>

■お申し込み・お問い合わせ

公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

〒650-8691 神戸市中央区元町通6丁目1-1 栄ビル8F

TEL 078-371-5613、FAX 078-371-0277

---

#### ④ 「兵庫県障害者アートギャラリー」3月・4月の催し

---

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、3月31日(木)まで「丹南精明園作品展」を開催しています。

絵画や書道、貼り絵やスクラッチアート、綿棒アートなど身近な素材を使用したアイデアいっぱいの作品が彩りを添えています。

また4月1日からは「いたみ杉の子 ゆうゆう・ほーぷゆう・フォーゆう作品展」がはじまります。

障害のある方々が、様々な表現手段を使い、自由な発想で描いたアート作品をどうぞご鑑賞ください。

■「丹南精明園 作品展」

1月6日(木)～3月31日(木) 10時～18時まで

※最終日は午後12時閉場

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2438>

■「いたみ杉の子 ゆうゆう・ほーぷゆう・フォーゆう 作品展」

4月1日(金)～6月30日(木) 10時～18時まで

※4月1日は午後12時開場、6月30日は午後12時閉場

---

⑤ ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

2月放送内容

---

■2月15日の放送内容

<ゲスト> 特定非営利活動法人 100 年福社会 片山工房 理事長  
新川修平(しんかわ・しゅうへい)さん

<テーマ>「障害者と芸術文化～芸術を通じた障害者の社会参加～」

片山工房の障害者アートに関する活動や、この活動を始めるきっかけなどについて、新川さんにお話しいただきました。新川さんと、ひょうごユニバーサル大使の濱田祐太郎さんとのかけ合いも、お楽しみ下さい。

番組後半は、障害をお持ちの方が作った商品をご紹介します。

◇商品 八女抹茶と丹波黒豆のガトーバー

◇製造 グッドフェローズ西明石(明石市小久保)

ミルクィなホワイトチョコをふんだんに使用し、専属の茶師が選んだ高級八女抹茶と丹波篠山産の黒豆を使用した、しっとり濃厚なガトーショコラ。小麦粉アレルギーの方にも安心して食べてもらえるよう、小麦粉を一切使わず、うるち米を使用しているとのこと。商品の詳細・購入はこちら <https://gluck135.com/>

■詳しい放送内容は、ラジオ関西「ラジトピ」に後日掲載しますのでご覧ください。記事と録音でお楽しみいただけます。

■次回のラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

3月15日(火)15時20分～15時40分

(ラジオ関西「PUSH！」内)

---

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで  
兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号  
TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040  
Mail:universal@pref.hyogo.lg.jp

---